

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	企業導入、産業活性化措置	中性子ビームライン産業利用推進事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		茨城県	
交付金事業実施場所		茨城県那珂郡東海村大字白方	
交付金事業の概要		<p>茨城県では、「茨城県総合計画」に基づき、大強度陽子加速器施設（J-PARC）内に設置した2つの中性子ビームラインを活用し、J-PARCにおける産業利用に取り組んでいます。</p> <p>中性子を活用した研究は最先端の科学分野であり、産業界が当ビームラインを利用した研究開発を促進することは、茨城県内の企業の先端産業を発展させる効果が認められます。このため、当該研究開発を円滑かつ効率的に実施するために、適切な運転維持管理を行うとともに、利用者に対する支援を実施します。</p>	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要政策・施策</p> <p>【茨城県】 茨城県総合計画『「新しい茨城」への挑戦』（2018-2021） I. 「新しい豊かさ」へのチャレンジ 政策2 新産業育成と中小企業等の成長 施策（1）先端技術を取り入れた新産業の育成 主な取組 ④世界最高性能の研究施設であるJ-PARCの産業利用を促進し、中性子を利用した研究成果から、新機能・高性能の材料創製や高付加価値型製品の開発、創薬などにつながる革新的な新技術を創出。</p> <p>【目標】 県中性子ビームラインの産業利用課題採択件数60件（令和2年度）</p>	
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度
事業期間の設定理由			

交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度		
	科学技術を活かしたイノベーションの推進	県中性子ビームラインの産業利用課題採択件数 (累計) 546件	成果実績	件	令和2年度		
			目標値	件	40		
			達成度	%	60		
評価年度の設定期間							令和2年度
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。							
交付金事業の定性的な成果及び評価等							
令和2年度の中性子ビームラインの産業利用課題採択件数は40件となり、目標を達成することができませんでした。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、J-PARCにおけるビームの停止やユーザーの入構制限、ユーザー企業における出張制限等が生じ、ビームラインの利用に大きな影響が出たことによるものです。採択件数は減少したものの、本事業への交付金の充当により、世界最先端の中性子回折装置である2本の中性子ビームラインの適切な運転維持管理及び利用者支援に重点的に取り組み、リチウムイオン電池、鉄鋼・金属及びゴムなどの高分子材料等の開発にかかる実験など、幅広い分野の産業利用課題を採択することができました。							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	J-PARC MLF開所日数		活動実績	件	176	153	136
			活動見込	件	176	170	159
			達成度	%	100.0%	90.0%	85.5%
交付金事業の総事業費等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考		
総事業費		101,178,000	101,132,777	101,133,000	303,443,777		
交付金充当額		73,181,000	71,550,000	71,523,000	216,254,000		
うち文部科学省分		73,181,000	71,550,000	71,523,000	216,254,000		
うち経済産業省分							

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
茨城県中性子ビームラインの運転維持管理及び利用者支援業務	プロポーザル	国立大学法人茨城大学	101,133,000
交付金事業の担当課室	茨城県産業戦略部技術振興局科学技術振興課		
交付金事業の評価課室	茨城県産業戦略部技術振興局科学技術振興課		